

ムジナモ開花間近

山川・フラワーパーク

絶滅危惧の食虫植物



⑤約50品種が並ぶ食虫植物展 ⑥食虫植物「ムジナモ」から出たつぼみ(中央)=24日、指宿市のフラワーパークかごしま

指宿市山川のフラワーパークかごしまで、希少食虫植物の「ムジナモ」がつぼみを付けた。環境省レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類に指定される。花は真昼の数時間しか咲かないため「幻の花」と呼ばれ、関係者らは開花を心待ちにする。

ムジナモは池や沼に浮かぶ水草の一種で、二枚貝のような形の葉でミシンコなどを捕食する。NHK連続テレビ小説「らんまん」のモデルとなった植物学者・牧野富太郎博士が国内で最初に発見したことで知られ、現在は野生で自生する場所はほぼないという。同園によると、夏休み恒例の食虫植物展に合わせて5株を取り寄せたところ、1株からつぼみが出た。25

日もつぼみの状態で、開花事例が少なく時期の予測は難しい。一般に直径5、6ミリの白い花が咲くとされる。栽培管理課技師の大島寛史さん(30)は「花はもちろん、植物自体が特徴的で珍しい。この機会にぜひ生で見て」と話す。食虫植物展は8月31日まで。正解者に景品が当たる「お花謎クイズラリー」も9月30日まで開催している。

【問1】 「ムジナモ」は、何植物と紹介されているでしょう。漢字6字で抜き出しましょう。

【問2】 ムジナモは、何に指定されているでしょう。

【問3】 ムジナモの花は、なぜ「幻の花」と呼ばれるのでしょうか。

【問4】 ムジナモは、何を捕食するのでしょうか。

【調べてみよう】

むずかしい漢字とことば

希少(き・しょう) = ごくめずらしく、少ないこと 環境(かん・きょう) 絶滅危惧種(ぜつ・めつ・き・ぐ・しゅ) = このままではいなくなってしまうかもしれない、数が非常に少なくなってしまった生き物のこと 咲(さ)く 幻(まぼろし) 呼(よ)ぶ 沼(ぬま) 浮(う)かぶ 枚(まい) 捕食(ほ・しょく) = つかまえて食べること 恒例(こうれい) = いつも決まって行われること 展(てん) 株(かぶ) 難(むずかしい) 一般(いっ・ぱん) 栽培(さい・ばい) 特徴(とく・ちょう) 珍(めずらしい) 謎(なぞ) 開催(かい・さい)

